

様式 4

<p style="text-align: center;">富士見市環境審議会委嘱状交付式並びに 令和 2 年度第 1 回富士見市環境審議会 議事録</p>						
日 時	令和 2 年 1 0 月 2 6 日 (月)		開会	午後 1 時 3 0 分		
			閉会	午後 3 時 2 0 分		
場 所	富士見市役所 2 階 市長公室					
出 席 者	委 員	須田委員	木内委員	中村委員	星野委員	濱野委員
		○	○	○	○	○
		守山委員	柳田委員	五十嵐委員	細田委員	関委員
		○	○	○	○	○
		水村委員	高橋委員	戸塚委員	細田委員	田中委員
		○	○	○	○	○
	事 務 局	星野光弘市長 環境課 村木課長、斉藤副課長、山田主査、森田主査、神谷主任、田口主事 (株)環境総合研究所 寺山、藤本				
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 委嘱状交付式 2 令和 2 年度第 1 回環境審議会 (1) 開会 (2) 市長あいさつ (3) 審議会概要・委員照会 (4) 会長及び会長代理の選出 (5) 会長あいさつ (6) 議事 ①諮問 ②富士見市一般廃棄物処理基本計画について (7) その他 (8) 閉会					

議 事 内 容

議事②富士見市一般廃棄物処理基本計画について

<委 員>家庭系のごみは人口が徐々に増えているのに減っているのは喜ばしいこと。しかし、事業者の数はあまり変わらないのに事業系ごみが増えているのはなぜか。原因が分らなければ対策のしようがないので教えてほしい。

8ページの将来人口では令和7年で111,674人となっているが、令和元年10月1日現在の値をそのまま持ってきてしまったのではないか。正しくは111,976になるのではないか。

<事務局>将来人口については間違いであったため、正しく数値111,976人に修正する。

事業系ごみの増加については、大型商業施設ららぽーとができたことによるものだと考えられる。また、他の事業所からのごみの排出量もある程度は増えている。

<委 員>ららぽーとからのごみの排出量は把握しているのか。

<事務局>把握している。令和元年度のららぽーとの排出量は約545,000kgである。

事業者数は増えていないが、従業員数は増えているため、必ずしもららぽーとだけの要因によるものではないと考えられる。

<委 員>事業系ごみ排出量は増加傾向にあり、事業者に対してごみの削減を要請していくとあるが、ISO14001の導入は今の事業者数に対してどれくらい取り組んでいるのか。

<事務局>市内の事業者がどれくらい取り組んでいるのかは把握していない。

<委 員>事業者にとっては費用がかかることなので、市として費用を捻出して対応していく必要がある。そうしなければ項目の施策の導入は難しくなるのではないか

<事務局>現時点では費用の補助は検討していないが、エコアクション21の啓発については川越市等と協力して学習会等を年4回実施しており、富士見市の業者にも来ていただくよう要請しているので、引き続き行いたい。

<委 員>いずれは展開を図っていくことをしていかないと、事業者に対する削減の要請はなかなか進まないのではないかと考える。

<事務局>検討する。

<委 員>第2次富士見市環境基本計画では基本目標3の項目の中にごみを減らそうがあるが、今年度の審議ではこの項目に含まれる一般廃棄物処理計画のみ審議するという認識でいいのか。

<事務局>今年度は一般廃棄物処理基本計画について審議する。

<委 員>予想しなかった新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、今後の10年後の将来人口推計など、様々な問題が発生したが、将来推計等ではそれを踏まえて計画していくのか。審議会の中で共通認識を図りたい。現状の情報を委員からも頂き、市民の活動につなげていく必要があるのではないか。

住民説明会では、ららぽーとのごみ処理は富士見市の管轄ではなく業者が別の場所で処理すると説明があったと記憶しているが、どうなのか。

<事務局>ららぽーとのごみは全量を志木地区衛生組合に入れているわけではなく、他の処理施設に搬入しているごみもある。基本的には事業系ごみ

については事業者の責務として処理している。

<委員>ららぽーとのごみについては可能であれば調査してもらいたい。

<事務局>志木地区衛生組合とオリックス資源循環で処理されている。志木地区衛生組合に入れている分があるため、平成27年度以降は事業系のごみが少し増えていると把握している。

<委員>粗大ごみが直近のデータでは増加しており、今年度は新型コロナウイルスの影響で増加している分もあると思う。将来予測ではそれを考慮するのか検討してもらいたい。

家庭ごみ有料化に伴った変化点は何かあるか。先行で有料化した区域の話だと、確かに一時期は減るが、その後元に戻るという話も聞く。

<委員>新型コロナウイルスによりテレワークの増加に伴って可燃ごみ等が増えたと考えられる。パッカー車でいうと平均1日4台動いているが1台あたりのごみの量は増加している。

<事務局>第3次計画への改定におけるポイントはいくつかある。1点目は人口である。推計による令和2年の人口にくらべて実際は800人程度増えている。令和7年においても微増傾向にある。2点目は産業団地の開発を進めることが計画されており、事業系ごみが増えるのではないかと予測される点である。3点目は新型コロナウイルスの影響による排出量への影響である。新しい生活様式に変わっていくことを踏まえて推計していかなければならない。また1人あたりのごみ減量など2次計画において取組が不十分であった部分の強化なども今回の改定趣旨であると考えている。

<委員>計画の課題の不法投棄や減量化の項目の中に「リユースの促進」を入れたらよいのではないかと考える。現在粗大ごみが多く出ている、家庭でいらなくなったものは回収してもらうか、環境センターに持ち込むかしているが、使えるが要らないものも多くあるはずなので誰かに使ってもらうためのリユースのシステム等を推進するのはどうか。粗大ごみや不法投棄なども減ってくるのではないか。

<事務局>現在「譲ります・譲ってくださいコーナー」を広報で掲載しているが、もう少しアピールできるような取組を考えたい。

<委員>第1章の改定の背景に記載のある“低炭素化社会”を“低炭素社会”あるいは“脱炭素社会”におきかえるまたは“低炭素・脱炭素社会”としてほしい。

計画に記載のある4Rと関係して、社会の流れとしてごみを出さないことが基本となっており、循環型経済にも関わるが、いわゆる3Rではなくリフューズを入れた4Rの推進が重要である。市では既に推進しているため中身としては進んでいるが、考え方としてはそういったものを踏まえておく必要がある。

<事務局>意見を踏まえ、検討する。

<委員>今回審議することは現状と課題のみで、第4章以降は次回審議し、答申するということよろしいのか。

<事務局>第2回審議会第4章以降の説明をさせていただくと、今日頂いたご意見についての回答をさせて頂く。

審議会は最後の答申を含め6回を予定している。ある程度区切りを持って審議していくつもりである。

<委員>答申は第6回までの審議以降ということか。

<事務局>内容を審議して、パブリックコメントも踏まえて答申は来年行う予定としている。

- <委員>確認だが、本計画はあと何回か会議を行い、最終的なまとめの時に答申という認識でいいか。
- <事務局>第2回から第4回までの中で皆さんに頂いたご意見の整理を行い、その後パブリックコメントを実施し、最終的な答申は令和3年3月頃を予定している。第2回審議会を11月17日に行う予定である。
- <委員>委員全員の共通の認識をもって次回につなげる必要があると考える。現在の回収先である最終処分場は、あと何年受け入れることができるのか。最終処分場の受け入れがないと処分ができないため、それを危惧しており、見通しを教えてください。
- チップ化について、公園以外の公共施設や街路樹の剪定枝の処分方法や取組はどのようになっているのか。第3次では他の施設のチップ化は考えているのか。
- 将来人口の推移について、若干人口は増えたとしても、今後10年では減少傾向になると思うが、どう考えていくかを視野に入れて、協議していくべきである。
- <事務局>最終処分場の見通しについては次回回答する。
- 公園剪定枝のチップ化に関して、現段階では公園以外のチップ化は行っていないため、今後の検討課題とする。
- <委員>チップ化を行っているのにごみが増えているのはさみしい。予算があるため厳しいかと思うが、公園剪定枝のチップ化と限定していいのか。どのように取り組んでいくのか考えてほしい。
- <事務局>チップ化に関しては公園のみで行っており、予算は多くない。しかし、チップの使い方はもう少し考える余地があると考えている。
- <委員>家庭ごみの有料化の研究について審議会の中でしっかりと議論する必要がある。有料化すると分別が甘くなるなどの問題があるのではないか。議論をしっかりと行う必要がある。
- <事務局>家庭ごみの有料化については、志木地区衛生組合の構成市で有料化の検討会議を行った結果、当面有料化は行わない方向となっているが、今後の課題としては視野に入れる必要があると考えている。
- <事務局>他の市町村の取組や状況も踏まえながら、慎重に議論していく必要がある。
- <委員>各自治体でもバブルがはじけた時に議論が出たが、市民から反対があり、有料化は難しくなった。過去にも財政が厳しい時に有料化しようとしたが、猛反発を受けて終わってしまった。有料化は難しいと思う。
- <委員>類似団体の中でごみが少ない傾向である理由と詳細な解析結果を知りたい。
- <事務局>次回検討し、回答する。
- <事務局>審議会終了後、追加の質問や意見もメールやFAXで受け付ける。